

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞穂市立中小学校		
実 施 期 間	平成25年10月29日(火)、11月26日(火)		
実 施 概 要	4月より取り組んだアイガモ農法 ①保護者と共に稲刈り ②保護者と共にアイガモ米でおにぎりづくり		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然 □歴史 □文化 ■産業 ■その他		
	公開の方法 □授業公開 ■成果発表 ■交流活動 □講演会等 □地域行事等参加 □その他		
来 校 者 数	保 護 者	44人	計 49人
	地域関係者	5人	
実 施 状 況	○5年生が保護者・地域のサポーターの方々と共に「アイガモ農法」で米作りに取り組んだ。 活動の要所でサポーターの林さんから、昔の米作りや稲の育て方、アイガモ農法について話を聞き「生物・命」について学習を積み重ねた。 5月 林さんとイネの種をまいた。種もみは、蒔く1週間前くらいから水にひたしておき、児童全員が各自苗用パレットに種籾を蒔いた。 6月 林さん、保護者と共に泥だらけになりながら田植えを行ったアイガモのひなを育て、水田に放鳥した。毎日アイガモの世話を続けた。今年度はドジョウに加えて食用鯉も60匹放流した。 10月29日 林さん、保護者と共に鎌を持ち、稲刈りを行った。刈り取った稲は、足踏み脱穀機を使って脱穀した。 11月26日 収穫したアイガモ米の一部を使って親子活動でおにぎりづくりに取り組んだ。		
成 果 及 び 課 題	○地域の皆さんや保護者と共に活動することで、子どもたちが主体的に活発に活動している姿を直に見てもらうことができた。 ○保護者、近隣の皆さんの関心も高く、日常的に児童の活動もアイガモの様子も見守ってもらっている。活動を通して、児童は米づくりの大変さとともに仲間と協力して活動することの大切さを感じ取ることができた。 ・他学年も保護者と共に行う活動をしているが、さらに児童、学校への理解を深めるために、地域住民とのと交流をどのように深めるかを検討していきたい。		